

24	25	26	27	28	29	30
○	○	○	×	○	○	○
			○○県にはへき地がないため			
×	×	×		○	○	×
×	×	×		×	/	×
/	×	×		○	○	×
○	○	○		○	○	○
○	×	×		×	/	○
×	×	×		○	/	×
×	×	×		×	○	×
×	×	×		×	/	×
○	×	○		○	○	×
○	○	○		○	○	×
○	○	○		○	○	○
×	×	×		×	/	×
×	×	/		○	/	×
			協議会は設置していません	助産師会関係者		
1	2	1		3	1	1
○	○	○		○	○	○

平成26年度 都道府県のへき地医療体制に関する調査

1.都道府県の取組みについて	31	32	33
1-(1) 医療計画とは別に第11次へき地保健医療計画を策定した都道府県は○を、策定しなかった都道府県は×を選択してください。	○	○	×
1-(2) (1)で×を選択した都道府県は、策定しなかった理由等を記載してください。			保健医療計画に含めて策定している
1-(3)-① 都道府県医師会関係者	○	○	○
1-(3)-② 郡市医師会関係者	×	×	○
1-(3)-③ 地元大学関係者	○	○	○
1-(3)-④ へき地医療拠点病院関係者	○	○	○
1-(3)-⑤ へき地診療所関係者	×	○	×
1-(3)-⑥ 看護協会関係者	○	○	×
1-(3)-⑦ 歯科医師会関係者	×	○	○
1-(3)-⑧ 薬剤師会関係者	×	○	×
1-(3)-⑨ へき地医療支援機構専任担当官	○	○	○
1-(3)-⑩ 都道府県担当者	○	○	○
1-(3)-⑪ 市町村担当者	×	○	×
1-(3)-⑫ へき地医療に関連する住民団体等	×	○	×
	×	/	/
1-(3)-⑬ その他			
1-(4) 平成25年度にへき地保健医療対策に関する協議会を開催した回数を記載してください。	4	4	2
1-(5) へき地保健医療対策に関する協議会で第11次へき地保健医療計画にあげられている個別事業の進捗状況を把握していれば○を、把握していなければ×を選択してください。	×	○	×
1-(6) (5)で×を選択した都道府県は、へき地保健医療対策に関する協議会以外で第11次へき地保健医療計画にあげられている個別事業の進捗状況を把握している組織、会議等の名称を記載してください。	なし		

34	35	36	37	38	39	40
○	○	○	○	○	○	○
			—			
○	○	○	○	○	○	○
○	×	×	×	×	○	×
○	○	○	○	○	○	×
○	○	○	○	○	○	○
○	×	×	○	○	×	○
○	×	○	×	×	○	×
○	×	○	○	○	○	○
×	×	○	×	×	×	×
○	○	×	○	○	○	○
○	○	○	×	×	○	○
○	○	○	○	○	○	○
×	×	×	×	×	×	×
×	×	○	○	×	○	/
		公的病院関係者、 県病院事業管理 者、県消防長会 会長、県保険者協 議会会長等	県消防関係者		基幹型臨床研修病 院代表者、地域医 療支援センター代 表者、住民団体代 表者	
1	1	1	1	1	2	1
○	○	○	/	○	○	○
			—			

平成26年度 都道府県のへき地医療体制に関する調査

1.都道府県の取組みについて	41	42	43
1-(1) 医療計画とは別に第11次へき地保健医療計画を策定した都道府県は○を、策定しなかった都道府県は×を選択してください。	×	○	○
1-(2) (1)で×を選択した都道府県は、策定しなかった理由等を記載してください。	平成25年4月公示の第6次保健医療計画の中でへき地保健医療計画を策定しているため。	—	
1-(3)-① 都道府県医師会関係者	未設定	○	○
1-(3)-② 郡市医師会関係者		×	×
1-(3)-③ 地元大学関係者		○	○
1-(3)-④ へき地医療拠点病院関係者		○	○
1-(3)-⑤ へき地診療所関係者		○	○
1-(3)-⑥ 看護協会関係者		×	○
1-(3)-⑦ 歯科医師会関係者		○	○
1-(3)-⑧ 薬剤師会関係者		×	○
1-(3)-⑨ へき地医療支援機構専任担当官		○	○
1-(3)-⑩ 都道府県担当者		○	○
1-(3)-⑪ 市町村担当者		○	○
1-(3)-⑫ へき地医療に関連する住民団体等		×	×
		/	×
1-(3)-⑬ その他			
1-(4) 平成25年度にへき地保健医療対策に関する協議会を開催した回数を記載してください。	—	1	2
1-(5) へき地保健医療対策に関する協議会で第11次へき地保健医療計画にあげられている個別事業の進捗状況を把握していれば○を、把握していなければ×を選択してください。		○	○
1-(6) (5)で×を選択した都道府県は、へき地保健医療対策に関する協議会以外で第11次へき地保健医療計画にあげられている個別事業の進捗状況を把握している組織、会議等の名称を記載してください。	〇〇県医療審議会	—	

44	45	46	47
○	○	○	○
○	○	×	○
×	×	×	×
○	○	×	○
○	○	×	○
○	○	×	○
○	×	×	×
○	○	×	×
×	×	×	×
×	○	×	○
×	○	×	○
○	○	×	×
×	×	×	×
×	○	×	○
	日赤		○○県保健医療部 保健衛生統括監、 ○○県病院事業局 統括監、離島振興 協議会の代表
1	0	0	0
○	○	×	×
		○○県保健福祉部 地域医療整備課	○○県地域医療対 策協議会

2.へき地で勤務する医師の確保について		1	2	3
2-(1)	都道府県のへき地医療に従事する医師数に関する調査が行われている場合は○を、行われていない場合は×を選択してください。	×	×	×
2-(2)	(1)で○を選択した都道府県は、その調査の項目についても記載してください。			
2-(3)	都道府県内のへき地医療に従事する医師は何人必要でしょうか。	6390		
2-(4)	現在、都道府県内のへき地医療に従事する医師はあと何人不足しているでしょうか。	798		
2-(5)	都道府県内のへき地医療に従事する医師として、どのような医師が必要でしょうか。	地域医療のみならず、地域社会にも貢献しようとする人間性豊かな人格である医師	幅広い診療科をカバーできる総合診療医の資質を備えた医師	総合診療医
2-(6)	へき地医療に従事する医師確保のための特別な取組を行っている場合は○を、行っていない場合は×を選択してください。	○	○	○
2-(7)	(6)で○を選択した都道府県はその内容を記載してください。	・ドクターバンク事業への補助 ・道外からの医師招聘活動 ・○○事務所における医師確保など	無料職業紹介所の開設	・地域医療支援機構の機能強化 ・地域医療支援センターとの連携推進 ・事業協力病院との連携強化
2-(8)	へき地医療に従事する医師確保のために、今後特別な取組を行う必要がある場合は○を、必要がない場合は×を選択してください。	×	○	○
2-(9)	(8)で○を選択した都道府県はその内容を記載してください。		へき地等の地域医療に従事する若手医師が、県内で勤務しながら自らの希望する専門医を取得し、充実した研修を受けられる体制の構築	・奨学金制度の継続 ・奨学金養成医師のキャリア形成支援と中小医療機関での勤務の両立
2-(10)	都道府県出身の自治医科大学卒業医師の総数(義務終了後に限る)を記載してください。	70	58	67
2-(11)	(10)のうち都道府県内に留まっている医師数を記載してください。	53	37	58
2-(12)	(10)のうち都道府県内のへき地に留まっている医師数を記載してください。(へき地に留まっている医師とは、過疎地域自立促進特別措置法、山村振興法、離島振興法及び豪雪地帯対策特別措置法の指定地域で診療に従事している医師およびへき地診療所の医師を指し、へき地医療拠点病院に勤務している医師は含みません)	30	36	53
2-(13)	(10)のうち都道府県内のへき地医療拠点病院に勤務し、代診等実際にへき地医療を支援する業務に従事している医師数を記載してください。	6	1	0
2-(14)	大学医学部の入学制度に、都道府県内のへき地医療に従事することを条件とした地域枠がある場合は○を、地域枠はあるが卒業後のへき地医療従事を条件としていない場合は△を、地域枠がない場合は×を選択してください。	○	○	○
2-(15)	へき地医療に従事することを条件とした医学生対象の奨学金制度がある場合は○を、奨学金制度はあるが、卒業後のへき地医療従事を条件としていない場合は△を、医学生を対象とした奨学金制度がない場合は×を選択してください。	○	○	○
2-(16)	都道府県が、へき地医療に関連した寄附講座を大学医学部に設置している場合は○を、していない場合は×を選択してください。	○	×	×

4	5	6	7	8
○	○	○	×	×
・へき地医療に従事する医師の必要数 ・へき地医療に従事する医師の不足数 ・へき地医療に従事する医師確保のための取組の内容 等	医師必要数、従事者数	医療従事者の数、1日平均患者数、県からの医師派遣の希望 等		
	15.227	10.725	31.7	21.5
	3.2577	2	2.8	9.5
		地域に根差した医療を提供できる医師	プライマリ・ケアの基本的な診療能力	・総合診療医 ・地域へ愛着を持ち、患者の家庭や地域性を 含め対応できる医師
○	○	○	○	×
・地域医療医師無料職業紹介所(ドクターキュービット事業)による市長村への医師の紹介 ・自治医科大学卒業医師の配置 ・〇〇県医師育成機構の事業により、医師の育成のキャリア支援 等	①義務年限中の自治医科大学卒業医師(県職員医師)派遣 ②ドクターバンク、東京事務所を活用した医師の募集 ③修学資金制度による医師確保	地域医療従事医師確保修学資金、ドクターバンク	医学生を対象とした、へき地診療所等の地域医療の現場視察などを行う体験研修を実施している。	
○	×	×	○	○
			本人の、『へき地医療のために働きたい』という 内的要因を根付かせるための取組。	へき地での勤務を義務づける修学資金制度
61	61	54	58	58
39	39	35	34	39
13	21	10	16	1
13	不明	14	4	4
×	△	×	△	△
○	△	○	○	△
×	×	○	×	×

2-へき地で勤務する医師の確保について	1	2	3
2-(17) 都道府県の自治医科大学卒業医師およびへき地医療に従事することを条件にした地域枠卒業医師・奨学金貸与医師をへき地に定着させる取組・工夫がされている場合は○を、されていない場合は×を選択してください。	×	○	×
2-(18) (17)で○を選択した都道府県はその内容を記載してください。		へき地等の地域医療に従事する若手医師のためのキャリアパス・モデル集の作成・配布。	
2-(19) 都道府県が、大学と協同してへき地医療に従事する医師確保対策を講じている場合は○を、講じていない場合は×を選択してください。	○	×	○
2-(20) (19)で○を選択した都道府県はその内容を記載してください。	医育大学が設置する地域医療支援センターからの医師派遣 など		奨学金貸与医師の配置調整組織への参加
2-(21) 自治医科大学学生に対し、都道府県が定期的(年1回以上)に直接接し、コミュニケーションをとる機会を設けている場合は○を、設けていない場合は×を選択してください。	○	○	×
2-(22) へき地医療に従事することを条件とした地域枠学生・奨学生に対し、都道府県が定期的(年1回以上)に直接接し、コミュニケーションをとる機会を設けている場合は○を、設けていない場合は×を選択してください。	○	○	×
2-(23) 自治医科大学学生と、へき地医療に従事することを条件とした地域枠学生・奨学生が一同に会してコミュニケーションをとる機会を設けている場合は○を、設けていない場合は×を選択してください。	×	×	×
2-(24) へき地医療に従事することを条件にした地域枠学生・奨学生に対し、都道府県が主催し、現場で行う地域医療夏期実習等の特別なカリキュラムを行っている都道府県は○を、行っていない都道府県は×を選択してください。	×	○	×
2-(25) 自治医科大学学生およびへき地医療に従事することを条件にした地域枠学生・奨学生が行う地域医療夏期実習等の特別なカリキュラムに対し何らかの財政的支援を行っている都道府県は○を、行っていない都道府県は×を選択してください。	○	○	×
2-(26) へき地医療に従事する医師の募集に際し、公務員として身分が保証される等としてメリットをPRしている都道府県は○を、していない都道府県は×を選択してください。	○	○	×
2-(27) 中学生・高校生を対象に、へき地医療の魅力を伝える啓発活動等を行っている都道府県は○を、行っていない都道府県は×を選択してください。	○	○	○
2-(28) 都道府県内の大学等、関連した大学で、全医学生に対してへき地保健医療に関する教育が行われている都道府県は○を、行われていない都道府県は×を選択してください。	×	○	×
2-(29) 都道府県内の大学等、関連した大学で、全医学生がへき地医療の現場を経験できるカリキュラムがある都道府県は○を、ない都道府県は×を選択してください。	×	×	×

4	5	6	7	8
x	x	○	○	x
		義務明け後の、県立中央病院での採用枠の設定、勤務環境改善のための代診医派遣制度、へき地勤務時における、週1回の研修機会の確保	義務年限終了後、引き続きへき地医療拠点病院で勤務する医師に対し、研究資金の貸与を行っている。	
x	○	○	○	x
医学生夏期セミナー	①客附講座による1年次の医学生からの地域医療体験実習の実施 ②〇〇医師総合支援センターによる大学と地域の病院とを循環し勤務しながらキャリア形成を行うシステムの推進	修学資金の広報活動等	県立医科大学にへき地の支援教員を配置し、大学→拠点センター病院→拠点病院→へき地診療所と玉突き方式で医師を派遣する『へき地医療支援システム』を採用している。	
○	○	○	○	○
○	x	○	○	x
○	x	x	○	x
x	x	○	○	x
○	x	○	○	○
x	○	x	x	x
○	x	○	○	x
x	○	○	○	x
x	○	○	○	x

2.へき地で勤務する医師の確保について		9	10	11
2-(1)	都道府県のへき地医療に従事する医師数に関する調査が行われている場合は○を、行われていない場合は×を選択してください。	×	×	×
2-(2)	(1)で○を選択した都道府県は、その調査の項目についても記載してください。			
2-(3)	都道府県内のへき地医療に従事する医師は何人必要でしょうか。		-	3
2-(4)	現在、都道府県内のへき地医療に従事する医師はあと何人不足しているでしょうか。		-	0
2-(5)	都道府県内のへき地医療に従事する医師として、どのような医師が必要でしょうか。		患者の全身の状態を踏まえ、必要に応じて専門医につなぐことのできる総合診療医	総合診療医、歯科医
2-(6)	へき地医療に従事する医師確保のための特別な取組を行っている場合は○を、行っていない場合は×を選択してください。	○	○	○
2-(7)	(6)で○を選択した都道府県はその内容を記載してください。	無料職業紹介事業の実施	自治医科大学医師のへき地勤務期間の見直し	自治医科大学卒業医師の配置 県外医学生奨学金貸与事業 地域枠医学生奨学金貸与事業
2-(8)	へき地医療に従事する医師確保のために、今後特別な取組を行う必要がある場合は○を、必要がない場合は×を選択してください。	×	○	×
2-(9)	(8)で○を選択した都道府県はその内容を記載してください。		自治医科大学医師のへき地勤務期間の見直し	
2-(10)	都道府県出身の自治医科大学卒業医師の総数(義務終了後に限る)を記載してください。	80	57	59
2-(11)	(10)のうち都道府県内に留まっている医師数を記載してください。	63	45	38
2-(12)	(10)のうち都道府県内のへき地に留まっている医師数を記載してください。(へき地に留まっている医師とは、過疎地域自立促進特別措置法、山村振興法、離島振興法及び豪雪地帯対策特別措置法の指定地域で診療に従事している医師およびへき地診療所の医師を指し、へき地医療拠点病院に勤務している医師は含みません)	0	7	0
2-(13)	(10)のうち都道府県内のへき地医療拠点病院に勤務し、代診等実際にへき地医療を支援する業務に従事している医師数を記載してください。	1	1	0
2-(14)	大学医学部の入学制度に、都道府県内のへき地医療に従事することを条件とした地域枠がある場合は○を、地域枠はあるが卒業後のへき地医療従事を条件としていない場合は△を、地域枠がない場合は×を選択してください。	○	△	○
2-(15)	へき地医療に従事することを条件とした医学生対象の奨学金制度がある場合は○を、奨学金制度はあるが、卒業後のへき地医療従事を条件としていない場合は△を、医学生を対象とした奨学金制度がない場合は×を選択してください。	○	△	○
2-(16)	都道府県が、へき地医療に関連した寄附講座を大学医学部に設置している場合は○を、していない場合は×を選択してください。	×	×	×

12	13	14	15	16
x	○	/	x	○
	医師数(非常勤)・うち自治医科大学卒業医師数・常勤医換算医師数			巡回診療実施医師数
0	48		63.25	23
0	0		26.05	0
該当なし	地域に溶け込み、地域の一員として地域医療に携わることのできる総合診療のプロ		幅広い診療能力を備えた医師、総合診療医・地域医療に対する熱意・意欲のある医師	地域における生活環境など実状を十分に把握する医師
x	○	/	○	x
	・市町村公立病院医師派遣事業 ・○○県へき地勤務医師等確保事業 ・○○県地域医療支援ドクター事業 ・○○県へき地医療支援機構無料職業紹介事業所の運営 ・○○県地域医療医師奨学金(特別枠・一般枠)		医師養成修学資金制度、ドクターバンク事業、自治医科大学卒医の配置、地元大学医学部大学院への県寄附講座設置 等	
x	○	/	x	x
	自治医大入学生減少に伴う代替医師確保			
57	71	58	64	56
42	41	36	54	41
0	4		27	0
0	5		6 〔へき地医療拠点病院勤務者数〕	0
x	○	/	△	△
x	○	/	△	△
x	x	/	○	x

2.へき地で勤務する医師の確保について	9	10	11
2-(17) 都道府県の自治医科大学卒業医師およびへき地医療に従事することを条件にした地域枠卒業医師・奨学金貸与医師をへき地に定着させる取組・工夫がされている場合は○を、されていない場合は×を選択してください。	○	×	×
2-(18) (17)で○を選択した都道府県はその内容を記載してください。	ドクターバンク制度		
2-(19) 都道府県が、大学と協同してへき地医療に従事する医師確保対策を講じている場合は○を、講じていない場合は×を選択してください。	○	○	○
2-(20) (19)で○を選択した都道府県はその内容を記載してください。	地域枠の設定	キャリアパス制度の構築	地域枠医学生奨学金貸与事業
2-(21) 自治医科大学学生に対し、都道府県が定期的(年1回以上)に直接接し、コミュニケーションをとる機会を設けている場合は○を、設けていない場合は×を選択してください。	○	○	×
2-(22) へき地医療に従事することを条件とした地域枠学生・奨学生に対し、都道府県が定期的(年1回以上)に直接接し、コミュニケーションをとる機会を設けている場合は○を、設けていない場合は×を選択してください。	○	○	×
2-(23) 自治医科大学学生と、へき地医療に従事することを条件とした地域枠学生・奨学生が一同に会してコミュニケーションをとる機会を設けている場合は○を、設けていない場合は×を選択してください。	○	×	○
2-(24) へき地医療に従事することを条件にした地域枠学生・奨学生に対し、都道府県が主催し、現場で行う地域医療夏期実習等の特別なカリキュラムを行っている都道府県は○を、行っていない都道府県は×を選択してください。	×	×	×
2-(25) 自治医科大学学生およびへき地医療に従事することを条件にした地域枠学生・奨学生が行う地域医療夏期実習等の特別なカリキュラムに対し何らかの財政的支援を行っている都道府県は○を、行っていない都道府県は×を選択してください。	×	×	×
2-(26) へき地医療に従事する医師の募集に際し、公務員として身分が保証される等としてメリットをPRしている都道府県は○を、していない都道府県は×を選択してください。	○	×	×
2-(27) 中学生・高校生を対象に、へき地医療の魅力を伝える啓発活動等を行っている都道府県は○を、行っていない都道府県は×を選択してください。	×	○	○
2-(28) 都道府県内の大学等、関連した大学で、全医学生に対してへき地保健医療に関する教育が行われている都道府県は○を、行われていない都道府県は×を選択してください。	○	×	○
2-(29) 都道府県内の大学等、関連した大学で、全医学生がへき地医療の現場を経験できるカリキュラムがある都道府県は○を、ない都道府県は×を選択してください。	○	○	×

12	13	14	15	16
x	/ 現在、検討中	/	○	x
			自治医大卒医:へき地勤務前の配置前研修の実施。義務年限内での後期研修期間の設定 奨学金貸与医師:卒業後のキャリア形成支援	
x	○	/	○	x
	・○○県へき地勤務医師等確保事業による都内の大学病院等の事業協力病院から、へき地医療機関への医師の派遣。 ・へき地医療機関での、大学病院研修医の受け入れ。		医学部大学院に県寄附講座を設置し、医学部5年生全員の地域医療実習等を実施	
○	○	x	○	○
x	x	/	○	x
x	○	/	○	x
x	○	/	○	x
x	○	x	○	x
x	○	/	x	x
x	x	/	x	x
○	x	/	○	x
/ 把握していません	x	/	○	x

2.へき地で勤務する医師の確保について		17	18	19
2-(1)	都道府県のへき地医療に従事する医師数に関する調査が行われている場合は○を、行われていない場合は×を選択してください。	○	×	×
2-(2)	(1)で○を選択した都道府県は、その調査の項目についても記載してください。	へき地診療所の勤務医師数(厚労省へき地医療現況調査)		
2-(3)	都道府県内のへき地医療に従事する医師は何人必要でしょうか。	89	6.08	19
2-(4)	現在、都道府県内のへき地医療に従事する医師はあと何人不足しているでしょうか。	15	1	5
2-(5)	都道府県内のへき地医療に従事する医師として、どのような医師が必要でしょうか。	幅広い分野の診療に総合的に対応できる医師	<ul style="list-style-type: none"> ・地域に居住し、在宅医療に明るい ・様々な病氣やけがに対応するために必要な総合的な能力をもつ ・気軽に相談でき、信頼を得ることができる ・複数の疾患を有する患者に対し、総合的に診る ・まず診て、自分自身で対応可能か、専門医に紹介すべきかを適切に判断できる ・へき地医療・地域医療に理解と見識がある ・コミュニケーション能力に優れている ・柔軟な思考力・親切な心をもつ 	<ul style="list-style-type: none"> ・プライマリーケアができる医師 ・へき地医療に対する理解や熱意があり、フットワークの良い医師
2-(6)	へき地医療に従事する医師確保のための特別な取組を行っている場合は○を、行っていない場合は×を選択してください。	○	○	○
2-(7)	(6)で○を選択した都道府県はその内容を記載してください。	自治医科大学卒業医師の派遣 地域医療人材バンクでの医師輪旋 ○大学特別枠の創設による医学生の確保など	家庭医養成の後期研修プログラムを設け、全国から募集している。研修医は、県立病院にて研修した後、へき地等地域の医療機関にて勤務する。	医師修学資金の貸与、地域医療支援センターの設置
2-(8)	へき地医療に従事する医師確保のために、今後特別な取組を行う必要がある場合は○を、必要がない場合は×を選択してください。	○	×	○
2-(9)	(8)で○を選択した都道府県はその内容を記載してください。	(7)で回答した取り組みの実施 医学生に向けた合同就職説明会(現在も実施) 指導体制強化研修会の実施(現在も実施)		地域の診療科偏在解消への取り組み
2-(10)	都道府県出身の自治医科大学卒業医師の総数(義務終了後に限る)を記載してください。	56	58	58
2-(11)	(10)のうち都道府県内に留まっている医師数を記載してください。	44	44	43
2-(12)	(10)のうち都道府県内のへき地に留まっている医師数を記載してください。(へき地に留まっている医師とは、過疎地域自立促進特別措置法、山村振興法、離島振興法及び豪雪地帯対策特別措置法の指定地域で診療に従事している医師およびへき地診療所の医師を指し、へき地医療拠点病院に勤務している医師は含みません)	0	2	20
2-(13)	(10)のうち都道府県内のへき地医療拠点病院に勤務し、代診等実際にへき地医療を支援する業務に従事している医師数を記載してください。	6	20	8
2-(14)	大学医学部の入学制度に、都道府県内のへき地医療に従事することを条件とした地域枠がある場合は○を、地域枠はあるが卒業後のへき地医療従事を条件としていない場合は△を、地域枠がない場合は×を選択してください。	○	×	△
2-(15)	へき地医療に従事することを条件とした医学生対象の奨学金制度がある場合は○を、奨学金制度はあるが、卒業後のへき地医療従事を条件としていない場合は△を、医学生を対象とした奨学金制度がない場合は×を選択してください。	○	△	△
2-(16)	都道府県が、へき地医療に関連した寄附講座を大学医学部に設置している場合は○を、していない場合は×を選択してください。	×	○	×

20	21	22	23	24
x	○	x	x	○
	市町村立医療機関の運営形態及び患者数等			医師数、看護師数、巡回診療、医学生教育等 ※へき地拠点病院、へき地診療所に従事する医師数を合計
	427	74.9		722
50	120	11		3
(へき地医療拠点病院、へき地診療所からのドクターバンク求人登録(常勤40、非常勤10)) 幅広い疾患の診察ができる医師	総合的な診療能力を有し、長年にわたり安定的に勤務していただき、主治医としてへき地住民の健康状態を把握できる医師	広く浅く様々な分野に精通し、あらゆる疾患を診療できること。スタッフ及び地域にてリーダーシップを発揮でき、協働させる能力を兼ね備えていること。地域住民と良好なコミュニケーションがとれること。多種多様な患者に対応できる幅広い診療が可能であること。医療機器等に限られた環境で診療のできる医師。時間外診療、往診等に対応できる医師。地域包括ケアシステムの構築に積極的に参加できる医師。医療機器等に限られた環境で診療のできる医師		※へき地診療所で欠員の出ている人数を合計 へき地の生活(衣食住)に溶け込み、住民とともに暮らす医師。
x (へき地を含む医師不足地域の医師確保のための取組を実施している)	○	○	○	○
へき地を含む医師不足地域の医師確保のための取組として、医学生修学資金貸与事業、医師研修資金貸与事業等を実施している。	へき地医療研修会、地域医療推進事業、指定管理	高校生、医学生の病院体験	へき地医療臨床プログラムによる臨床研修医受入を行うことにより将来的にへき地医療を担う医師の育成を図る。	都市部での医師募集相談会
x (へき地に限らず、医師不足地域の医師確保、医師の偏在解消のための取組は必要)	○	○	○	○
へき地に限らず、医師不足地域の医師確保、医師の偏在解消のため、医学生修学資金貸与者の配等を行っていく	現行事業の継続、指定管理	未定	へき地医療に従事する医師のキャリアパスの充実	都市部での医師募集相談会
63	62	61	56	59
45	37	45	42	30
9	7	7	7	7
5 (へき地医療拠点病院に勤務する医師数)	7	0	未把握	6 ※県の奨学金を借りることを前提とした地域枠制度もあるが、大学の入試制度単独では、へき地医療従事を条件とした制度はない。
△	△	x	△	△
△ (へき地を含む医師不足病院における従事を条件としている)	○	△	△	○
x	○	x	x	x 奨学金制度内で、複数コースを設け、へき地医療に従事することを条件としたコース設定もある。

2.へき地で勤務する医師の確保について	17	18	19
2-(17) 都道府県の自治医科大学卒業医師およびへき地医療に従事することを条件にした地域枠卒業医師・奨学金貸与医師をへき地に定着させる取組・工夫がされている場合は○を、されていない場合は×を選択してください。	○	○	×
2-(18) (17)で○を選択した都道府県はその内容を記載してください。	交流会の実施	自治医科大学卒業医師とこまめに連絡を取るようになっている。	
2-(19) 都道府県が、大学と協同してへき地医療に従事する医師確保対策を講じている場合は○を、講じていない場合は×を選択してください。	○	○	○
2-(20) (19)で○を選択した都道府県はその内容を記載してください。	地域枠学生のキャリア形成支援	地域枠学生に対し、大学カリキュラムの中で診療所実習体験を設けている。	地域医療支援センターの設置
2-(21) 自治医科大学学生に対し、都道府県が定期的(年1回以上)に直接接し、コミュニケーションをとる機会を設けている場合は○を、設けていない場合は×を選択してください。	×	○	○
2-(22) へき地医療に従事することを条件とした地域枠学生・奨学生に対し、都道府県が定期的(年1回以上)に直接接し、コミュニケーションをとる機会を設けている場合は○を、設けていない場合は×を選択してください。	×	×	×
2-(23) 自治医科大学学生と、へき地医療に従事することを条件とした地域枠学生・奨学生が一同に会してコミュニケーションをとる機会を設けている場合は○を、設けていない場合は×を選択してください。	×	×	×
2-(24) へき地医療に従事することを条件にした地域枠学生・奨学生に対し、都道府県が主催し、現場で行う地域医療夏期実習等の特別なカリキュラムを行っている都道府県は○を、行っていない都道府県は×を選択してください。	○	×	×
2-(25) 自治医科大学学生およびへき地医療に従事することを条件にした地域枠学生・奨学生が行う地域医療夏期実習等の特別なカリキュラムに対し何らかの財政的支援を行っている都道府県は○を、行っていない都道府県は×を選択してください。	○	×	×
2-(26) へき地医療に従事する医師の募集に際し、公務員として身分が保証される等としてメリットをPRしている都道府県は○を、していない都道府県は×を選択してください。	○	×	×
2-(27) 中学生・高校生を対象に、へき地医療の魅力を伝える啓発活動等を行っている都道府県は○を、行っていない都道府県は×を選択してください。	○	○	○
2-(28) 都道府県内の大学等、関連した大学で、全医学生に対してへき地保健医療に関する教育が行われている都道府県は○を、行われていない都道府県は×を選択してください。	○	×	○
2-(29) 都道府県内の大学等、関連した大学で、全医学生がへき地医療の現場を経験できるカリキュラムがある都道府県は○を、ない都道府県は×を選択してください。	×	×	×

20	21	22	23	24
×	○	×	○	○
(義務年限終了後、県内での勤務を希望する医師に対し、ドクターバンクにより就業先をあっせん)	自治医科大学卒業医師の希望があれば、義務年限後も県職員のまま市町村等への派遣を行っている。		自治医科大卒医師については、義務年限終了後引き続きへき地勤務を希望すれば最長5年、県・市町村職員(併任)の身分を保有できる。	キャリアサポート制度を設置し、公務員として身分保障を行い、へき地で働く医師の確保に努めている。
×	○	×	×	○
(地域医療支援センターの分室を〇〇大学に置き、協同してへき地を含む医師不足地域の解消に向けて取り組んでいる。)				大学内に地域医療支援センター分室を設置し、県庁と連携しながら医師確保に努めている。
○	○	○	○	○
×	×	/	×	○
(医学生修学資金貸与者を対象にした研修・交流会や面談を実施)	〇〇県へき地医療研究会や東海3県へき地医療研究会で、一部交流の場はある。			
×	×	/	×	○
(医学生修学資金貸与者と自治医大学生の交流会の実施)	〇〇大学医学部附属地域医療医学センターと医療整備課(へき地医療支援機構)合同で夏季実習を準備している。			
×	×	/	×	○
(医学生修学資金貸与者を対象にした現場研修を実施)				
○	×	×	×	○
(自治医大大学生)				
×	×	/	×	○
○	○	○	×	○
(自治医大説明会)				
×	×	×	×	○
(希望する学生に対し、地域医療に関する講演会への参加を促している)				
×	×	×	×	○

2.へき地で勤務する医師の確保について		25	26	27
2-(1)	都道府県のへき地医療に従事する医師数に関する調査が行われている場合は○を、行われていない場合は×を選択してください。	×	×	
2-(2)	(1)で○を選択した都道府県は、その調査の項目についても記載してください。			
2-(3)	都道府県内のへき地医療に従事する医師は何人必要でしょうか。	不明	へき地拠点病院・へき地診療所においては、医師が充足している状況ではなく、ほとんどの医療機関が医師の増員を求めている。詳細な人数については、各医療機関の常勤医配置状況や診療科毎の偏在なども踏まえて精査が必要だが、不足数の合計は30~40人程度。	
2-(4)	現在、都道府県内のへき地医療に従事する医師はあと何人不足しているでしょうか。	不明		
2-(5)	都道府県内のへき地医療に従事する医師として、どのような医師が必要でしょうか。	不明	総合的な診療能力を持つ医師	
2-(6)	へき地医療に従事する医師確保のための特別な取組を行っている場合は○を、行っていない場合は×を選択してください。	×	○	
2-(7)	(6)で○を選択した都道府県はその内容を記載してください。		KMCCキャリアパス(大学病院や地域の病院が連携し、専門医資格取得を目指す)、医師の待遇改善(研究・研修費の充実、産科医の手当補助等)など	
2-(8)	へき地医療に従事する医師確保のために、今後特別な取組を行う必要がある場合は○を、必要がない場合は×を選択してください。	×	○	
2-(9)	(8)で○を選択した都道府県はその内容を記載してください。		従来の取組に加え、新たな専門医制度への対応や、北部で勤務する医師の環境改善により努める必要がある。	
2-(10)	都道府県出身の自治医科大学卒業医師の総数(義務終了後に限る)を記載してください。	57	78	
2-(11)	(10)のうち都道府県内に留まっている医師数を記載してください。	41	54	
2-(12)	(10)のうち都道府県内のへき地に留まっている医師数を記載してください。(へき地に留まっている医師とは、過疎地域自立促進特別措置法、山村振興法、離島振興法及び豪雪地帯対策特別措置法の指定地域で診療に従事している医師およびへき地診療所の医師を指し、へき地医療拠点病院に勤務している医師は含みません)	7	5	
2-(13)	(10)のうち都道府県内のへき地医療拠点病院に勤務し、代診等実際にへき地医療を支援する業務に従事している医師数を記載してください。	0	22	
2-(14)	大学医学部の入学制度に、都道府県内のへき地医療に従事することを条件とした地域枠がある場合は○を、地域枠はあるが卒業後のへき地医療従事を条件としていない場合は△を、地域枠がない場合は×を選択してください。	△	○	
2-(15)	へき地医療に従事することを条件とした医学生対象の奨学金制度がある場合は○を、奨学金制度はあるが、卒業後のへき地医療従事を条件としていない場合は△を、医学生を対象とした奨学金制度がない場合は×を選択してください。	△	○	
2-(16)	都道府県が、へき地医療に関連した寄附講座を大学医学部に設置している場合は○を、していない場合は×を選択してください。	×	○	

28	29	30	31	32
○	×	○	○	○
現在の医師数、標準医師数、医師の充足、医師の必要数、医師確保の見通し、医師派遣の希望など		診療実績等、医師の状況、往診の実施状況等	・標準診療科 ・診療科ごとの医師の必要性、現員数及び常勤・非常勤の別 ・医師採用計画数及び理由	現員数、必要数等
971.45	14	98	1250.1	561
199.25	0	5	161.7	162
総合的な診療能力を有する医師	—	総合診療医		総合的な診療能力を有する医師
○	○	○	×	○
①県で修学資金を貸与して養成する医師の派遣 ②後期研修修了医師等を県で採用し、医師のキャリアにも考慮しながらへき地医療機関へ派遣	①○○県緊急医師確保修学資金 ②医師確保修学研修資金貸与制度 医師不足の診療科又はへき地医療機関での勤務を、返還免除の条件の1つとしている。 ③「総合医のための研修プログラム」 県の期限付き職員としてへき地医療で必要とされる「地域型総合医」等を養成する。	医師を任期付きの県職員として採用 等		県外からの医師招へい、地域医療支援センターによる若手医師育成、代診医派遣による医師の負担軽減等
○	×	×	×	×
(7)充実・強化				
59	61	63	50	57
33	48	49	36	31
13	2	9	36	4
4	3	1	0	17
○	○	○	○	△
×	○	○	○	○
○	○	×	○	○

○○県緊急医師確保修学資金貸与制度
医師不足の診療科又はへき地医療機関での勤務を、返還免除の条件の1つとしている。

○○県医師確保修学研修資金貸与制度
医師不足の診療科又はへき地医療機関での勤務を、返還免除の条件の1つとしている。

2.へき地で勤務する医師の確保について		25	26	27
2-(17)	都道府県の自治医科大学卒業医師およびへき地医療に従事することを条件にした地域枠卒業医師・奨学金貸与医師をへき地に定着させる取組・工夫がされている場合は○を、されていない場合は×を選択してください。	×	○	
2-(18)	(17)で○を選択した都道府県はその内容を記載してください。		研修・研究の機会の確保、研究資材等の購入補助 住環境等の整備 病院等の連携によるキャリア形成支援等	
2-(19)	都道府県が、大学と協同してへき地医療に従事する医師確保対策を講じている場合は○を、講じていない場合は×を選択してください。	×	○	
2-(20)	(19)で○を選択した都道府県はその内容を記載してください。		医学生・看護学生の医師確保困難地域での地域医療実習(病院内外での臨床実習、地域住民等との懇談、医療スタッフとの意見交換等)、地域医療シンポジウムの開催等	
2-(21)	自治医科大学学生に対し、都道府県が定期的(年1回以上)に直接接し、コミュニケーションをとる機会を設けている場合は○を、設けていない場合は×を選択してください。	○	○	
2-(22)	へき地医療に従事することを条件とした地域枠学生・奨学生に対し、都道府県が定期的(年1回以上)に直接接し、コミュニケーションをとる機会を設けている場合は○を、設けていない場合は×を選択してください。	×	○	
2-(23)	自治医科大学学生と、へき地医療に従事することを条件とした地域枠学生・奨学生が一同に会してコミュニケーションをとる機会を設けている場合は○を、設けていない場合は×を選択してください。	×	×	
2-(24)	へき地医療に従事することを条件にした地域枠学生・奨学生に対し、都道府県が主催し、現場で行う地域医療実習等の特別なカリキュラムを行っている都道府県は○を、行っていない都道府県は×を選択してください。	×	×	
2-(25)	自治医科大学学生およびへき地医療に従事することを条件にした地域枠学生・奨学生が行う地域医療実習等の特別なカリキュラムに対し何らかの財政的支援を行っている都道府県は○を、行っていない都道府県は×を選択してください。	○	○	
2-(26)	へき地医療に従事する医師の募集に際し、公務員として身分が保証される等としてメリットをPRしている都道府県は○を、していない都道府県は×を選択してください。	×	×	
2-(27)	中学生・高校生を対象に、へき地医療の魅力を伝える啓発活動等を行っている都道府県は○を、行っていない都道府県は×を選択してください。	×	○	
2-(28)	都道府県内の大学等、関連した大学で、全医学生に対してへき地保健医療に関する教育が行われている都道府県は○を、行われていない都道府県は×を選択してください。	○	×	
2-(29)	都道府県内の大学等、関連した大学で、全医学生がへき地医療の現場を経験できるカリキュラムがある都道府県は○を、ない都道府県は×を選択してください。	×	×	